

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
基準日	3月31日
定時株主総会	6月
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 中間配当を行う場合は9月30日
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部 名古屋証券取引所 市場第二部
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
公告掲載紙	日本経済新聞

会社概要 平成21年9月30日現在

会社名	株式会社 コメ兵
設立	昭和54年5月
資本金	1,803,780千円
従業員数	313名
本社	名古屋市中区大須三丁目25番31号
事業内容	中古品及び新品の宝石・貴金属、時計、 バッグ、衣類、きもの、カメラ、楽器などの 仕入・販売及び不動産賃貸

## 〔役員〕

代表取締役社長	石原 司郎
専務取締役	山田 康雄
常務取締役	沢田 登志雄
常務取締役	塩谷 弘文
取締役	鳥田 一利
取締役	瀬古 正
取締役	石原 卓児
常勤監査役	小崎 誠
監査役	杉山 健二
監査役	村松 豊久

(注)常勤監査役 小崎誠、監査役 杉山健二及び  
村松豊久の3氏は社外監査役であります。



〒460-0011 名古屋市中区大須三丁目25番31号  
TEL 052-242-0088 (代) FAX 052-242-3188  
URL <http://www.komehyo.co.jp>

## 第32期 中間報告書

平成21年4月1日～平成21年9月30日



## ごあいさつ

私たちは、“リレーユース”を核として、  
お客様に満足と感動を提供いたします。



代表取締役社長  
石原 司郎

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第32期上半期(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)における我が国経済は、一部に回復の兆しが見えるものの、前期から続く世界的な金融・証券市場の混乱等による景気の減速、それに伴う雇用調整及び消費者心理の悪化等により個人消費は依然として弱含んで推移いたしております。

リユース業界におきましては、消費者の低価格志向の強まり、及び、循環型社会への移行により業界全体が注目を浴び、生活用品・低額品の需要が伸びた反面、高額品や嗜好品の需要は厳しい影響を受けることとなりました。また、インターネットによる中古品売買の普及・拡大に加え、一部では他業界との提携や資本受入等の動きも見られる等、様々な要因により買取・販売競争は激化の一途を辿っております。

このような環境の下、当社は利益確保のため、買取・販売チャネルの拡大・強化、販促活動の効率化、在庫量の削減、経費コントロールの強化等の様々な施策に取組み、企業価値の向上に努めてまいりました。

今後も厳しい環境が続くと予想されますが、創業精神である“リレーユース”を核とし、お客様に満足と感動を提供いたしますと共に、全社一丸となって収益力の向上を図ることにより、企業としての持続的な成長を目指していく所存でございます。

株主の皆様には、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(平成21年11月)

リレーユースとは、「モノは人から人へと伝承(リレー)され、有効に活用(ユース)されてこそ、その使命を全うする」というコメ兵独自の考えです。



リレーユース概念図

## 経営戦略

当社はこれまで、東京、名古屋等の大都市に比較的大規模な「リユースデパート」を展開することによって事業を拡大してまいりました。今後は収益力向上のための諸施策に取組み、これら店舗の収益改善及び拡大に努めます。また、新設した営業企画部・WEB事業室を中心として新たな営業施策やオンラインショッピングの強化等に積極的に取り組んでいくことにより、買取・販売チャネルの拡大・強化に努めてまいります。

[ 上半期の取組みポイント ]

### 収益力の向上

売上高総利益率	28.8% (前年同期比 +5.4pt)	・商品毎の利益管理の厳格化
販売費及び一般管理費	2,850百万円 (前年同期比 ▲304百万円)	・販売費 163百万円削減、人件費 92百万円削減
期末商品棚卸高	6,847百万円 (前年同期比 ▲3,682百万円)	・売上高総利益率の低位な在庫の削減

### 買取・販売チャネルの拡大・強化

営業企画部の取組み	・ポイントカード(売場向け)の実験的導入 ・他業種との提携等による新たな仕入チャネルの検討
WEB事業室の取組み	・2009年7月、衣類オンラインショッピングサイトを開設 (P6参照) ・オンラインショッピングサイトの認知度向上策の実施
その他、既存店の強化等	・名古屋大須地区「コメ兵本館」2・3階をリニューアル (P6参照)

## 店舗案内

名古屋大須地区	販売・買取	東京 新宿店	販売・買取	東京 渋谷店	買取	大阪 心斎橋店	販売・買取
豊田店	販売	東京 有楽町店	販売・買取	横浜西口店	買取	神戸三宮店	販売・買取



名古屋 本館



東京 新宿店



※店舗により、取扱商品は異なります。

## 財務諸表等

### 第2四半期貸借対照表

科目	当第2四半期 (平成21年9月30日現在)	前第2四半期 (平成20年9月30日現在)	増減率 (対前第2四半期比)
流動資産	9,563,222	13,303,999	▲28.1%
固定資産	4,776,691	5,052,418	▲5.5%
負債	3,161,728	7,227,436	▲56.3%
純資産	11,178,186	11,128,982	0.4%
総資産	14,339,914	18,356,418	▲21.9%

### 第2四半期損益計算書

科目	当第2四半期 累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前第2四半期 累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	増減率 (対前第2四半期累計期間比)
売上高	11,224,532	15,835,557	▲29.1%
売上高総利益	3,230,971	3,702,326	▲12.7%
販売費及び一般管理費	2,850,479	3,154,985	▲9.7%
営業利益	380,491	547,340	▲30.5%
経常利益	374,637	514,176	▲27.1%
第2四半期純利益	220,181	314,214	▲29.9%

### 第2四半期キャッシュ・フロー計算書

科目	当第2四半期 累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前第2四半期 累計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	増減額 (対前第2四半期累計期間比)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,801,112	764,332	1,036,779
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,042	▲316,860	331,903
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,972,136	▲591,565	▲1,380,570
現金及び現金同等物の第2四半期末残高	1,484,326	1,218,819	265,507

※詳細は「平成21年3月期 第2四半期決算短信」をご参照ください。  
 コメ兵IR情報ページ(www.komehyo.co.jp/ir/index.php)もしくは、東京証券取引所(www.tse.or.jp)よりアクセスいただけます。

#### 第2四半期貸借対照表のポイント

- ・在庫水準の適正化により商品在庫は前年同期比 ▲3,682百万円の6,847百万円となりました。
- ・有利子負債削減への取組みにより借入金は前年同期比 ▲3,891百万円の1,658百万円となりました。
- ・その結果、自己資本比率は前年同期比+17.4ptの78.0%となりました。

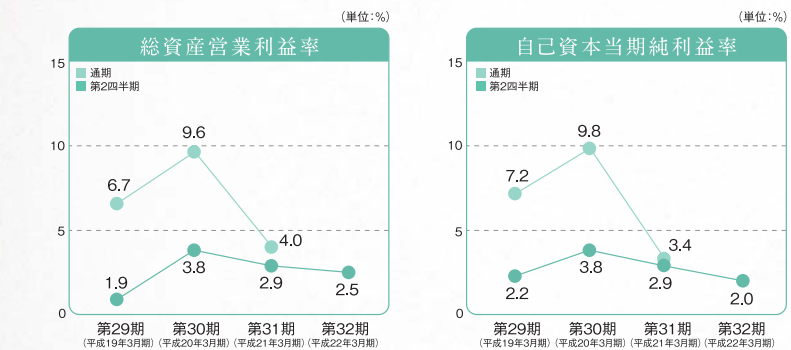
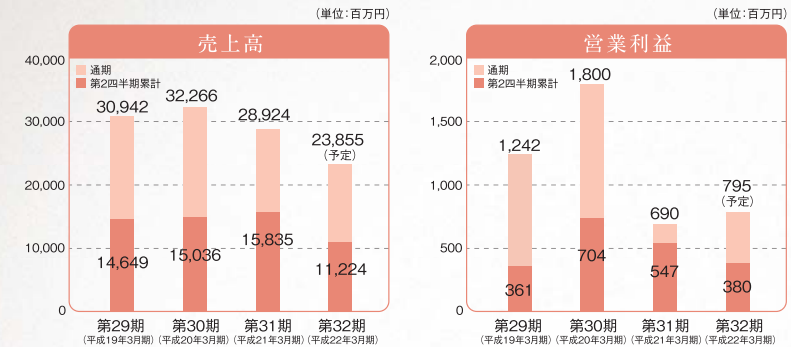
#### 第2四半期損益計算書のポイント

- ・売上高は消費低迷により前年同期比 ▲4,611百万円の11,224百万円となりました。
- ・売上高総利益率は商品毎の売上高総利益率管理の厳格化、及び、前期下半期より実施した売上高総利益率の低位な在庫の早期処分・新品商品の仕入抑制等により、前年同期比+5.4ptの28.8%となりました。
- ・販売費及び一般管理費は経費コントロールの強化により前年同期比▲304百万円の2,850百万円となりました。

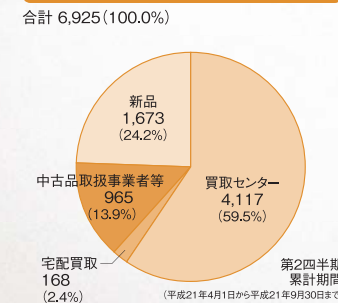
#### 第2四半期キャッシュ・フロー計算書のポイント

- ・営業キャッシュ・フローは在庫水準の適正化により棚卸資産が減少し、前年同期比+1,036百万円の1,801百万円となりました。
- ・財務キャッシュ・フローは借入金の返済により、前年同期比 ▲1,380百万円の▲1,972百万円となりました。

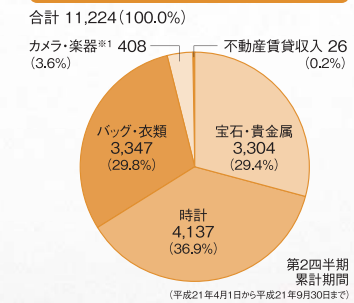
## 業績の推移



#### 仕入経路別仕入実績



#### 商品群別販売実績



※1「商品群別販売実績」グラフにおきまして前事業年度に表示しておりました「家電・楽器」の欄については、より適正に取扱品目の内容を示した「カメラ・楽器」へと区分名を変更しております。

#### 業績予想

上半期の利益は当初の業績予想を上回る結果となりました。通期の業績予想についても、前期下半期から当期上半期にかけて実施した利益率改善策による効果が想定以上となっており、通期業績への寄与が見込まれることから、利益を上方修正することとします。

なお、売上高に関しては、景気の二番底の懸念が拭い切れず、厳しい状況が続く見込みですので、通期の業績予想は据置きとさせていただきます。

また、下半期に実施する営業施策として「コメ兵新宿店」1階の改装やWEBシステムの強化があり、これらによって苦戦している売上高の回復を図り、通期の業績予想の達成に努めます。

【参考:修正後の通期業績予想】

- ・売上高 23,855百万円(※変更無)
- ・営業利益 795百万円(対修正前計画比+100百万円)
- ・経常利益 772百万円(対修正前計画比+105百万円)
- ・当期純利益 444百万円(対修正前計画比+ 86百万円)



[新宿店1階・改装イメージ]

## 株式の状況 平成21年9月30日現在

### 発行株式数等

発行可能株式総数	18,000,000株
発行済株式の総数	11,257,000株
単元株式数	100株
株主数	6,475名

### 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
石原 卓児	1,880,300	16.70
石原 司郎	1,297,200	11.52
石原 佳代子	758,300	6.73
鳥澤 正子	443,400	3.93
鳥澤 吉正	443,400	3.93
コメ兵社員持株会	439,460	3.90
株式会社りそな銀行	218,800	1.94
エイチエスピーシー ファンド サービスズ スパークス アセット マネジメント コーポレイテッド	169,100	1.50
バンク オブ ニューヨーク ジャーシーエム クライアント アカウント ジェイビーアールデイ アイエスジー エフイーエイシー	133,000	1.18
和田 成史	79,200	0.70
大株主上位10名の合計	5,862,160	52.07

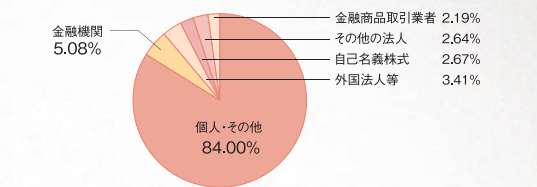
(注) 当社は自己株式300,297株(持株比率:2.66%)を保有しています。

## 配当政策

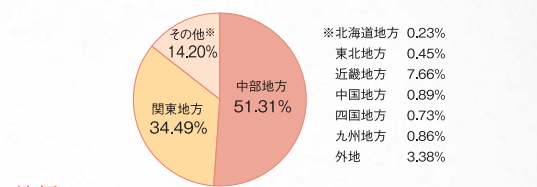
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営戦略上の重要政策として認識しており、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、収益やキャッシュ・フローの状況に応じて、株主の皆様に対する適切かつ安定的な配当を実施していくことを基本方針としています。

■ 中間配当金 ■ 期末配当金

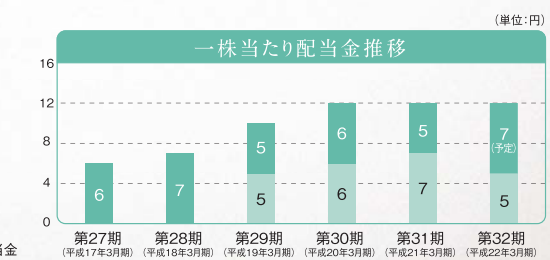
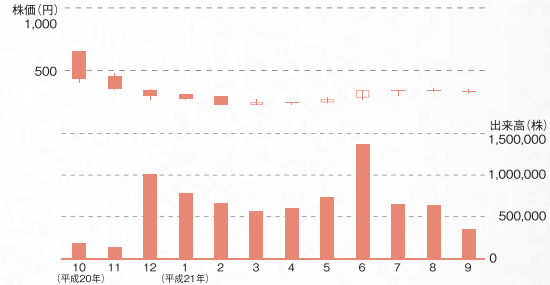
### 所有者別株式数分布



### 地域別株式数分布



### 株価チャート



## トピックス

### TOPICS 1

### 衣類のオンラインショッピングサイトを開設しました。

平成21年7月27日、既存の宝石・貴金属、時計、ブランドバッグ、さもの、カメラ・楽器のオンラインショッピングサイトに、衣類のオンラインショッピングサイトを追加開設しました。20~30代の男女を主なターゲットに、洋服のみならず、靴・鞆・小物・アクセサリも含め約800点の商品を掲載しています。

[衣類のオンラインショッピングサイト]



www.komehyo.co.jp/shopping/index.html

### TOPICS 2

### 名古屋大須地区「コメ兵本館」2・3階をリニューアルしました。

2階・時計フロアは「WATCHサービスコーナー」を新設。修理・下取りや在庫検索等のお客様サービスを一括で行います。3階・ブランドバッグフロアはコーナーの仕切りを取払い、開放感溢れるフロアになりました。また、化粧品等の取扱いも開始しました。



[2階・WATCHサービスコーナー]



[3階・化粧品コーナー]



[3階・ブランドバッグフロア]

### TOPICS 3

### コメ兵の環境に対する取組み。

当社は前期より、衣服で体感温度を調節するクールビズ・ウォームビズの事務所施設における実施や、地球温暖化防止を主旨とした環境省主催の全国一斉ライトダウンのイベント「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」への参加等、環境へ配慮した取組みを少しずつですが定着化させています。今後もこのような取組みの輪を広げていきたいと考えています。